

令和6年第2回教育委員会会議 会議録

1 日 時 令和6年3月21日（木）午後1時30分～

2 場 所 男鹿市役所 3階 第三委員会室

3 出席者 教育長 鈴木 雅彦
委員 三浦 良忠
委員 吉田 貴美子
委員 山王丸 由利絵
委員 古仲 宗雲

4 出席職員 教育総務課長 村井 千鶴子
学校教育課長 笹 渕 美穂
教育総務課主幹 武田 健一
教育総務課主幹 伊藤 直子
学校教育課主幹 秋山 真貴子

5 議事日程及び議案

日程第1 令和6年第2回会議録の報告・承認

日程第2 会期の決定

日程第3 教育長の報告その他事務事業の報告

日程第4 議事

議案第6号 令和6年度市職員の人事異動について

日程第5 報告事項

(1) 男鹿市学校施設長寿命化計画の一部変更について

(2) 職員の人事異動について

(3) 令和6年度教職員の人事異動について

(4) 令和6年3月定例会における一般質問（教育委員会関連）について

(5) 男鹿地区高校統合に関する協議会報告書について

6 開会宣言 午後1時28分

7 会 期 (自) 令和6年3月21日
(至) 令和6年3月21日 1日間

8 閉 会 午後2時55分

【教育長】

皆様お疲れ様でございます。

今日は小中学校が終了式で、この1年間の教育課程を終えるということになります。例年ですと3月の暖かい日差しがあるわけですがけれども、今日は季節が1か月元に戻ったような天候で、体育館も大分寒かったのではないかなと思います。

3月7日の中学校の卒業式、そして15日の小学校の卒業式に市長、副市長がご出席いたしまして、大変立派だったと感激しておりました。

教育委員の皆様からもご出席をいただきまして、ありがとうございました。

公立高校の入試の一般選抜発表が終わりまして、明日が二次募集の合格発表日ということになります。

会議に入る前に村井課長から報告があります。村井課長、お願いします。

【教育総務課長】

教育長と教育委員の任命について報告いたします。

3月19日、男鹿市議会3月定例会最終日の本会議におきまして、本年4月13日をもって任期満了となります鈴木教育長、また、本年5月10日をもって任期満了となります、古仲教育委員を引き続き任命する人事案が上程されました。

議会からは、全会一致で同意をいただいております。鈴木教育長、古仲教育委員に引き続きご留任いただくことになりましたので、ご報告いたします。

今後どうぞよろしくお願いいたします。

【教育長】

それでは、ただいまから令和6年第2回教育委員会会議を開催いたします。

日程第1「令和6年第1回会議録の報告・承認」を議題といたします。

前回の会議録の報告・承認については、事前配布により内容を確認していただいておりますので、説明を省略させていただきます。

委員の皆様からご署名をいただきましたので、御異議がないものと認め承認いたします。

次に、日程第2「会期の決定」を議題といたします。

会期については、本日1日としたいと思いますがよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

【教育長】

それでは、会期は本日1日といたします。

次に、日程第3「教育長の報告その他事務事業の報告」をいたします。事務局から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

（資料に沿って説明）

【教育長】

ただいま事務局から報告がありました。このことにつきまして御質問ありましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

【教育長】

御質問ないようですので「教育長の報告その他事務事業の報告」は以上といたします。

これより審議に入りますが、日程第4、議案第6号及び日程第5、報告事項の(2)と(3)につきましては、人事に関する案件でありますので、男鹿市教育委員会会議規則第10条第1項の規定に基づき秘密会といたします。

日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは最後に審議いたします。

それでは日程第5「報告事項」の(1)、(4)、(5)を一括して議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

まず、報告事項(1)「男鹿市学校施設長寿命化計画の一部変更について」です。

議案書の4ページをお願いします。

令和7年度に予定されている美里小学校屋内運動場の屋根及び外壁の改修に係る事業費について、学校施設環境改善交付金の申請などの理由から、男鹿市学校施設長寿命化計画の一部を変更いたしました。

別紙A3のカラーの縦型の資料をご覧ください。

男鹿市学校施設長寿命化計画は令和3年から令和28年を計画期間とし、現在は第1期計画期間となっております。別紙は同計画中、長寿命化の実施計画の抜粋で、変更前、変更後を記載しております。

主な変更点についてご説明いたします。左側の変更後をご覧ください。

紫色の表示があります、「長寿命化改修事業」の令和7年度に美里小学校屋内運動場改修事業に係る施設整備費を追加しております。

下のグレーの「その他施設整備費」をご覧ください。

令和6年度、令和7年度に船越小学校屋外運動場整備事業を追加しております。

また、令和6年度に解体を予定していた旧船川南小学校解体事業を削除しております。旧船川南小学校の解体については、男鹿海洋高校と男鹿工業高校の統合時期・設置場所など、統合に向けた具体的な方針が示された後に検討することとしたことから削除したものです。

さらに、旧五里合中学校解体事業は解体年度を変更し、令和6年度に実施設計、令和7年度に解体工事とし、旧払戸小学校解体事業は令和7年度に実施設計、令和8年度解体工事に変更しております。長寿命化計画の説明は以上となります。

次に、7ページをご覧ください。

報告事項(4)「令和6年3月定例会における一般質問について」、3月議会では、教育委員会関連で4名の議員から一般質問がありました。

安田健次郎議員からは、学校教育環境について質問があり、学校統合については、学校と情報を共有し、児童生徒が豊かに学び合えるよう、教育環境を整えとともに、安全安心なスクールバスの運行など、きめ細やかに対応していく。

統合後の成績への影響については、「分かる、できる、楽しい」授業を大前提とした丁寧な学習指導と、望ましい人間関係の醸成や自尊感情を高める生徒指導の充実を図り、一人も取り残すことのない教育を目指していく。

美里小学校の登校時期に関しては、複式学級の解消や通学時間、地域住民からの要望などに十分配慮し、船越小学校との統合時期について検討していく。

教員不足については、本市の小・中学校には国が定める教職員定数に基づき適切な教員配置がなされており、教員の不足は発生していない。

全国学力・学習状況調査の実施については、調査のために行き過ぎた事前指導を行っている学校はなく、児童生徒に過度な負担は生じていないと認識しており、今後も授業改善に有効に活用していくために、これまで通り参加していく。

学校給食に提供する食材の安全性については、食材納入業者には品質や鮮度はもとより、安全性においても信頼度の高い食材の提供を依頼し、安全安心の確保に努

めていくと答弁しております。

鈴木元章議員からは、市立図書館の整備計画についてと、教育現場におけるＩＣＴの活用について質問があり、市立図書館については、それほど遅くない時期に整備に向け検討を始める施設であると認識しており、地域の知の拠点施設としての役割に加え、時代の変化や多様化する市民ニーズへの対応、さらには、まちづくりや子育て環境の一層の充実などを視野に入れ、本市に必要な図書館像を検討していく必要があるととらえている。

また、図書館における指定管理者制度の導入については、先進事例も参考としながら、様々な視点から本市の図書館運営に効果のある方法を検討していくと答弁しております。

教育現場におけるＩＣＴの活用については、児童生徒一人一人の学びの質を高め、自主的な学びを促進していく上で大きな可能性を秘めており、各学校での児童生徒の可能性を引き出す授業づくりを支援し、確かな学力の向上に努めていくと答弁しております。

太田穰議員からは、船越小学校を核とした地域づくりについて質問があり、地域の多くの方々が学校や子供たちと関わることにより、地域に開かれた魅力ある学校づくりが進んだことや、地域住民からいただいた意見・要望を学校運営や教育活動に反映させることで、学校の活性化につながった。

今年度は、子供たちが地域に出ての地域貢献活動をはじめ、学校から地域に向かう活動の良好な流れができつつあると手応えを感じていると答弁しております。

佐藤誠議員からは、ふるさと教育について質問があり、一連の探求活動を通して、子供たちに育成すべき主な資質能力は、「問題を発見する力」と「問題を解決する力」であり、考えながら、そして将来への夢を持ちながら、地域の「ひと・もの・こと」を活用して、資質能力を高めていくことにあり、子供たちが積極的に地域に出て、自分たちの住む地域に目を向け、問題を発見し、解決する力を高めていけるよう、地域課題解決型の探求活動をコミュニティ・スクールの取り組みと連携、連動させながら軌道に乗せ、一層の充実を図っていく。

子供たちが地域の人たちと一緒に取り組む活動の積み重ねが、将来にわたってふるさと男鹿を想い、様々な分野でふるさと男鹿を支えていく人材の育成につながっていくものと考えている。

ふるさと愛を軸とした子供たちの活動を面で支えていけるよう、官、民、地域が一体となった体制づくりに向けて新たな動きを作っていくと答弁しております。

一般質問については以上となります。

次に、報告事項(5)について説明をいたします。

別冊になっております、「男鹿地区高校統合に関する協議会報告書」をご覧ください。

男鹿地区高校統合に関する協議会の第４回協議会を２月２２日に開催いたしました。

これまでの協議会では、男鹿海洋高校と男鹿工業高校の統合に関し、海洋系、工業系の学科の融合により、全国的にも例のない特色あるカリキュラムを編成することや、全国から生徒を集めるため、男女ともに寮を新設するなど、魅力ある統合校の設置を強く望む意見が多数出されてきました。

第４回では、これらの意見・要望を取りまとめた協議会から市長へ提出する報告案について話し合いました。

委員から出された指摘事項や、さらなる意見を追加し、報告書を成案としており

ます。

報告書では、県から依頼があった案件について、「統合校の人材育成に資する教育活動に関すること」については、両校の特色を組み合わせることにより、他県・他校にはない専門的な特色ある学科の新設などの意見を、「統合校の設置場所に関すること」については、大水深プールが活用できる現在の男鹿海洋高校への設置、秋田市方面から通学する生徒の利便性を考慮した、船越地区への設置といった意見を記載しているほか、部活動の施設・設備に関して、秋田市内の高校と同程度の整備の検討や、男女ともに入寮可能な寮の新設など、県教育委員会に対する要望事項を広く記載しております。

今後は3月25日に協議会会長から市長へ報告書を提出し、4月上旬に報告書の内容に配慮した市からの要望書を市長から秋田県教育長へ提出する予定としております。報告は以上です。

【教育長】

ありがとうございました。今、村井課長から、日程第5の(1)として、「男鹿市学校施設長寿命化計画の一部変更について」と(4)「令和6年3月定例会における一般質問について」、(5)「男鹿地区高校統合に関する協議会報告書について」説明がありました。

もう少し詳しくお聞きしたいですとか、何か質問がございましたらお願いいたします。

3月定例会の一般質問、議案書の8ページから答弁内容になりますけれども、安田議員から美里小学校の統合計画についての質問がありまして、その後で予算特別委員会でも、何名かの委員から、小学校の統合についてのご質問がありました。

美里小の統合については、現在の「男鹿市小・中学校再編整備計画」では、令和12年度までは学校を存続させるという記述がされております。

計画を策定した時点では、美里小の複式学級が令和9年度から発生する見込みでしたが、令和6年度には複式学級が一つ発生する見込みです。想定よりも複式学級の発生が早くなってしまいまして、令和12年度まで学校を存続させるということについてもう一度議論が必要ではないかなと考えております。

やはり教育委員会としては、子供たちにとって望ましい教育環境を整備することが大きな仕事でありますので、一定の集団で子供たちが切磋琢磨しながらお互いにいいところを伸ばしていけるような規模の学校ということで、この後、早急に美里小と船越小の統合について検討して、早め早めに進めていく必要があるかと考えております。

資料ありますか。来年度からどういう形で、複式学級が発生していくかということと説明お願いしたいと思いますが。

【学校教育課長】

来年度は2年生と3年生の複式学級が発生します。ただ、複式学級は16名からですが、ちょうど16名ということで、1人でも転校生が来るようなことが5月1日までにあれば、また複式解消になり、非常に微妙なところですよ。外から転入してくるお子さんがいない場合には、その学年は卒業するまで複式が続きますし、令和8年度からは、2学級で複式学級が発生する見込みとなっています。

入学する子供の数が減っているのでも、複式学級の解消というよりは、今の試算では、複式の数が増えていく試算になっております。

【教育長】

ありがとうございました。

いずれ児童数が増える見込みはないということになりますので、子供たちのことを考えれば早め早めに動いていく必要があるかなととらえております。

あと、市民クラブの鈴木元章議員からは、市立図書館の整備等について質問がありまして、村井課長から説明がありましたように、それほど遅くない時期に準備に向け検討を始めるということで、現船川港公民館と併設している図書館も相当老朽化していますし、面積としても非常に狭い空間になりますので、これも早め早めに動いていく必要があると考えております。

村井課長、図書館整備に関して、今後の見通しがありましたらお願いいたします。

【教育総務課長】

現在の図書館は、船川港公民館の2階にあります。エレベーターもないので、足腰が弱い方とか高齢の方は自分で本を見に行くことが非常に大変だということと、駐車場がちょっと離れておりますので、そういった面でも、小さいお子様をお連れのお母さんたちが気軽に立ち寄れる図書館にはなっていないという認識をしております。現在いろいろなところの図書館がどうなっているのかというのを、図書館の職員と一緒に現地視察をしたり、ネットで見てみたりして調べていますが、最近では厳格な図書館として、本に陽が当たらないような状態の静かな図書館というよりは、子供もお母さんも楽しく過ごすことができる空間と静かに勉強する空間と、何か交流が生まれるような空間というのを兼ね備えた複合的な図書館が主流になってきているとの認識があります。

男鹿市においても、この後どんどん人口も減少していくということや、いろいろな公共施設が老朽化していることを考えると、市としてもそういった形の図書館を模索していく必要があるのではないかと考えております。この後、他市町村の事例をしっかりと見て歩く機会を作りたいと思ひまして、先進地の図書館を視察するための経費を令和6年度予算に計上しておりますので、少しずつ具体的な話に近づいていけるように進めていきたいと考えております。

【教育長】

ありがとうございます。よく言われますけども、図書館はその地域、自治体の文化度を図る物差しのようなものだということもありますけれども、市としても本を読む、何かを調べる事以外にも、そこにいろんな地域の方が集まって、いろんな活動が展開できるような新しいタイプの図書館ということも含めて、構想を一つひとつ詰めていきたいと考えております。

それから、太田議員からは、船越小学校を核とした地域づくりについては、11ページ、12ページになりますが、この後、払戸小学校と統合して学区が広がりますが、学区が広がったからこそ、今までできなかったことも可能になると考えられますので、船越地区、払戸地区を含めて、コミュニティ・スクールが今以上に活性化できればと考えております。

また、来年度は学校統合に関する準備の中で、統合した際のコミュニティ・スクールの活動についても話し合われますので、そこでまた今まで以上の活動ができるコミュニティ・スクールについて議論を深めていきたいと思ひます。

最後に佐藤誠議員からは、男鹿南中学校の「ぐろおがるサミット」などについて、大変感動したということで、そういった活動を地域に根差した探究活動をもっともっと続けてもらいたいという励ましの言葉がありました。来年度予算の中に活動に関する様々な経費を今年以上につけてもらっておりますので、学校の方でも子供の探究活動が充実するように、地域に出ていろいろな活動をしてもらえれば、非常にいいかなと思ひます。

学力向上については、普遍的なことで時代が変わっても、場所が変わっても全く変わらず、学校に課せられた最大の課題になりますけれども、どうやって地域に根差して探求活動を行いながら子供たちに問題解決する力をつけていくかということが、人口減少ということもありますけれども、地域を支える人材を育成していくためにはかなり重要になってきますので、来年度も小・中学校で地域に根差した探究活動を今年度以上にきめ細かく推進してくれるものにとらえております。

この間、新聞にも出ていました男鹿南中学校生徒が書いたなまはげが、ＪＲ東日本のポスターになって東京の駅に１年間掲示されるそうです。非常にインパクトのある絵、本当に何か子供らしい絵でしたので、「男鹿に行ってみよう」という方が増えてくれば、大変うれしいと思っております。いろんな意味で中学生が地域貢献、社会貢献活動をしているということも、地域の方或いは、議員の方々にも伝わっていきますので、どんどん地域を中学生が盛り上げることができるよう、来年度もいろいろな活動を支えていきたいと思っております。

他に何か御質問ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、御質問ないようですので報告事項については以上といたします。

次に、日程第６「その他」になりますが、令和６年度教育委員会会議の開催計画について事務局から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

議案書の１５ページをご覧ください。

令和６年度教育委員会会議等の計画について、教育委員会会議は６月、８月、１１月、２月、３月に記載の事項を案件として開催する予定としております。

開催日については、おおよその案としての日にちとなっておりますので、今後改めてご通知をしたいと思います。

また、このほか案件により、臨時会を開催させていただくこともございます。招集告示は開催日の１週間前、開催通知と議案書を送付させていただきます。

次に、学校訪問は５月下旬から７月上旬にかけて実施予定です。

秋田県市町村教育委員会連合会研修会の日程は、まだ決定しておりませんが、令和５年度は１１月に開催しておりますので、１１月に記載しております。

小中学校の入学式は４月５日、卒業式は中学校が令和７年３月７日、小学校が令和７年３月１４日となっております。

この他、令和５年度の教育委員会の事務に関する点検評価を７月に予定しております。

市長が招集します総合教育会議の開催は、日程が決まり次第ご連絡いたしますが、今年度は１月に開催しておりますので、計画書では１月に記載しております。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

【教育長】

ありがとうございました。

来年度の教育委員会会議等の開催計画について、説明がありましたが、御質問ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

【教育長】

御質問ないようですので、その他については以上といたします。

この後は秘密会となりますので、説明員以外は退席ということになります。

（以後「秘密会」により会議録は略）

【教育長】

以上をもちまして、令和6年第2回教育委員会会議を閉会といたします。
ありがとうございました。

